

事業所における自己評価結果

公表

事業所名		こどもくらぶキシムナー			公表日	R7年4月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用計員が発達支援室等のスペースとの連携で適切であるか。	7			適切なスペースで活動に合わせて、室内外での活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			適切に配置の下で業務分担ができる業務改善に繋がっています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害者の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が実施になされているか。	7			自室から、廊下の昇降の際は安全面で手すりを設んで出来るよう声かけを行い対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			安全性を重視、環境整備に留意しています。また、活動に合わせて室内外での活動を工夫しております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の経験や場所を授与することが認められる環境になっているか。	7			会場にて、個別の部屋を併用できる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			業務開始後、終了時にミーティングを行っています。定期的に実績会議を設けています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			保護者向け評価表より、保護者様等の意向を把握する機会を設け、その内容を業務改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			定期的に職員会議を開催しております。また、その内容業務改善に繋げています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7			第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			定期的に研修の機会を開催しています。また、法人内での研修を開催する機会があります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムを作成、公表されているか。	7			適切に配置の中で業務分担ができて業務改善に繋がっています。支援プログラムを作成し公表しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			業務開始前、終了時にミーティングを行っています。定期的に支援会議を設けています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に携わる職員が共通理解の下で、こどもの個別の利益を考慮した検討が行われているか。	7			個より、保護者様及び関係機関などから情報を収集し計画を作成しています。また、自室から子ども達の支援の面に適りを行っております。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿って支援を行っております。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などで含むインフォーマルなアセスメントを使用する事により確認しているか。	7			研修での講師より助言や、専門誌など情報を収集し計画を作成しています。
周辺機関や保護者との連携	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供手順と支援」の「本人尺度」、「事業支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も記載しながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			身近自立を主とし、個々のペースに合わせて丁寧に療育に取り組んでいます。「地元支援」近隣の商店や、保護者様など積極的に取り組んでいます。保護者様からの様々なご要望など、電話や事務での面接を行っております。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			チームでプログラムの立案を行っております。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			専門講師によるプログラムや、固定化されないように職員が交代制で活動プログラムを立案しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			小集団活動を主とし、個別での課題に丁寧に取り組んでいます。
	20	支援開始前に職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や段階分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			支援開始前に職員が必ず打ち合わせをして、支援内容の段階分担をおこなっています。
保護者への説明	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			支援終了後には、必ず職員間でその日行った支援内容の振り返りを行い、気付いや改善など共有を行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			日々の支援に関して記録を徹底し記録の内容も次の支援に繋げられるよう心掛けています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			定期的なモニタリングを行い、支援計画の見直しを行いモニールステップで課題に取り組んでいます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7			集団活動を主とし、自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供、児童を囲ってあります。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			子どもの自己選択が出来るような支援を行っており、自己決定をする力を育みます。
事業所の運営	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者が議論や開発機会との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			職員の意見をまとめて、障害支援事業所のサービスを担当者会議に提出しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行なう体制を整えているか。	7			保健園や、こども園、支援学校との連携して実行する体制を整えています。
	28	学校との情報共有（年齢計画・行事予定等の交換、こどもの下校時間の確認等）、連絡調整（迷路時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			学校・保護者様との情報共有し、迷路や、行事予定など連絡調整を行っています。
	29	就学前に利活用していた保健所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			保健園、こども園との日々の様子を共有したり会議において、支援内容の情報共有を行っています。
	30	学校に卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。	7		職員の向上を図る観点から、福祉サービスの見学会を行いました。	卒業生など、対象児童がない方が、職員の向うを耳に聞きながら、福祉サービス事業所の見学を行い、保護者様への情報を共有していきたい。
保護者等の対応	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや勧誘や研修を受ける機会を設けているか。	7			今後、地域の児童発達支援センターとの連携を取り組むや、研修を受ける機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童団との交流や、地域の色々なこども活動する機会があるか。	7		地域の交流の機会の企画・情報収集を行う。	豊富な利活用はあるが、地域の他の子どもと活動する機会がないため、今後地域の放課後児童クラブや児童団との交流の機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			協議会（やえまーる）へ積極的に参加しております。
	34	家庭からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っていますか。	7			家庭から、利活用の学生など、各部門がグループで連携で取り組んでいます。定期的にモニタリングで課題をすり合わせながら確認を行っております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家庭支援プログラム（アレントドーリーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	7			対応の向上を図る観点から保護者様に対して成長事例や、経験豊富な職員より講義など行っています。
非常時等の対応	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			サービス利用する前に丁寧に説明させて頂き、不満な点に聞くても親切に対応してもらっています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最高の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し、保護者様へ支援内容の説明を行っています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			保護者様からのアセスメントを元に発達段階に合わせて、支援計画を作成し、保護者様へ支援内容の説明を行っています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			定期的にモニタリングや、保護者様からの個別な事案、電話や事務件にて聞いて一緒に乗り組などの対応を考えております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、ようやく同じ父母で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			昨年は、親子レクを開催しました。今回はゆかたをテーマと定めておりました。また、父母亲の活動を支援するなどの親子のやり取りが大切にしたいと思われます。
非常時等の対応	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情が発生した場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、周知や苦情が発生した場合に速やかに適切に対応の体制を整備しておきます。
	42	定期的に連絡文を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に図って発信しているか。	7			ホームページやSNSを併用しています。また、利用予定表を活用して活動や行事予定の情報を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			全職員個人情報の取扱いに周知しています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			子どもの特性を理解して接するよう努めています。
	45	事業所周辺に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	7			今後、機会があれば事業所の行事に地域住民招待する等、地域に開かれた事業運営を行ってまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、消防マニュアル、感染対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		午間行事で、防災の訓練を予定している。他、防犯など発生を想定した訓練も実施していく。	マニュアルは職員間で周知しております。安全管理を怠る訓練をそれを実施できるようようございます。
	47	業務実績計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか。	7			火災訓練などを取り組んでいます。今後も継続して取り組んでいます。
	48	事前に、施設や自宅の防災、地震等の状況を確認しているか。	7			定期的に訓練を実施しており、今後も継続してしめています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指導書に基づく対応がされているか。	7			食物アレルギー対象の児童には保護者様へ確認してごまごとに情報共有を図っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他の必要な訓練を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			子どもの安全を確保に関して、定期的な訓練を実施しております。予定表やライン等で周知しています。
非常時等の対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組みについて周知しているか。	7			セイリバットを事業所内で共存し、再発防止に向けた方策について職員間で共有しています。
	52	にセイリバットを事業所内で共存し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			セイリバットを事業所内で共存し、再発防止に向けた方策について職員間で共有しています。
	53	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			やむを得ないが、やむを得ない事案について、保護者に公示し、保護者様へ事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している。